

Camellia

Vol.2

【CONTENTS】

来・ぶらり..... P. 2

YOMMU! ~おすすめの1冊~..... P. 3

私の図書館活用術..... P. 4



**情報収集力
アップ大作戦!!**

宮崎公立大学附属図書館

MISSION!

ネットを駆使して、
欲しい情報を入手せよ!!

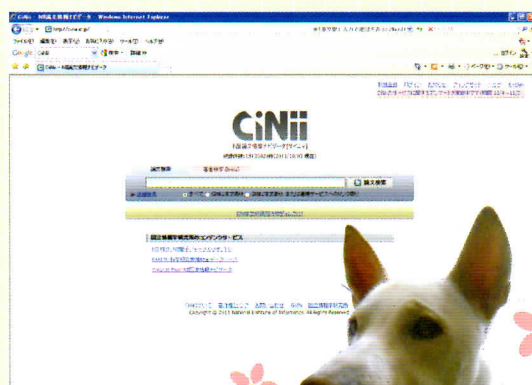


○雑誌論文を探すコツ.....

雑誌は図書と違って1冊の中にたくさんの記事があるため、雑誌のタイトルだけでは個々の記事の中身が分かりません。また、OPAC（学内蔵書検索。Camellia創刊号を参照してください）に欲しい論文名を入力して検索しても、目的の論文が掲載されている雑誌はヒットしないことがほとんどです。そこで皆さんにオススメするのが、雑誌論文や記事を検索できるデータベース“CiNii”（サイニィ）です。

CiNii 約1,200万件の学術論文情報を収録。本文がある論文はなんと320万件！

学協会刊行物、大学研究紀要、国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービス。国内で刊行された膨大な論文の中から簡単に目的の論文を検索し、論文情報は勿論のこと、時には論文の本文にまで到達できてしまうスグレモノです。本文が見れない場合でも大丈夫。検索で得た論文情報をもとに、図書館が提供するILL（図書館間相互貸借）サービスを利用して、他大学から文献のコピーを送ってもらうことも可能です（ただし有料）。また、参考文献（どのような論文を引用しているのか）と被引用文献（どのような論文から引用されているのか）を表示していて、それらの引用関係をたどることによって予期せぬ「お宝論文」を発見できるかもしれません。検索方法も、キーワード・論文タイトル・著者名・雑誌名などいろいろな項目から検索が可能でとても便利です。



図書館のホームページ
からアクセスしてね♪



○CiNiiで見つからなくても諦めないで！ 他にもこんなものがありますよ。

Google Scholar 世界のGoogleがお届けする、強力な学術情報収集ツール！

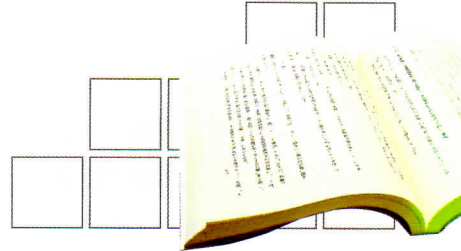
インターネット上の学術情報に特化した検索エンジン。通常のGoogle検索は、インターネット上のあらゆる情報を対象としていますが、それに対してGoogle Scholarは、学術出版社・学協会・大学などが出版したピア・レビュー誌、書籍、学術論文、学位論文、学会の抄録といった学術情報に検索対象を絞っていて、キーワードや著者名で検索できるようになっています。また、オープンアクセスのものは本文（PDF）へ、ライセンス契約のものは出版社などの抄録ページへ、というように検索結果画面から多様なリンクを提供していることも特徴です。



自分のパソコンから、
いつでも無料で
利用できるよ!!



○最後の手段はレファレンス。分からないことがあれば図書館職員に尋ねてください。



メント・モリ

【藤原新也】

約30年前に出版された詩を織り交ぜた写真集。メント・モリとはラテン語で「死を想え」。インドやチベットで撮影された写真は、生命力の裏に隠れる死を意識させる。また、著者がこれらの地を旅して得た、死に対する深い考察に衝撃を受けること必至である。未だに死がタブーとされている日本に生きる、そしてこれから国際人になるために社会の様々な見方を身に付けなければならない私たちにメッセージをくれる一冊。多感なこの時期に是非読んでほしい。

紹介者／黒木れい奈（1年）

ロング・グッドバイ

【寺山修司詩歌選 寺山修司】

この本は、「言葉の錬金術師」の異名を持つ、寺山修司さんの詩歌集です。この本の中には、寺山さんの詩、短歌、俳句、物語など、さまざまな作品が収められています。文学作品だけにとどまらず、様々な分野で「寺山修司」を表現してきた彼の言葉は、独特の世界観とのかややかな表現力で、私たちの心の輪郭をなぞります。まずはこの一冊から、彼の残した「寺山修司」という世界に、触れてみてはいかがでしょうか。

紹介者／市木 友梨（1年）

平和政策

【大芝亮、藤原帰一、山田哲也／編】

本書は、私がゼミに入って最初にテキストとして読んだ思い出の一冊です。国際組織や地域機構、兵器や核、難民、ジェンダーなどの観点から「平和」を創るための「政策」がわかりやすく書かれています。私は最後に書かれた言葉が印象に残っています。『辛くても明るい、前向きなものであってこそ、平和政策は平和政策でありうる』本書に出会えたことで、ポジティブな気持ちで自分の専門分野のスタートラインに立つことができました。

紹介者／岡元慎太郎（3年）

太陽の塔

【森見登美彦】

「何かしらの点で、彼らは根本的に間違っている。なぜなら、私が間違っているはずがないからだ」。幾人の大学生がこの言葉を自信たっぷりに言えるだろうか。我々は徹底的に意固地で、何かにつけて反抗したくなる。でも失恋「ごとき」で泣いてしまうのはなぜだろう…。カッコつけながらもナイーブで、ちょっと見栄を張る。そんな学生の何が悪い！大学生の葛藤とカッコ悪さを惜しみなく賞賛した作品だと思う。

紹介者／堀田 啓太（4年）

プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神

Die protestantische Ethik und der 'Geist' des Kapitalismus

【マックス・ヴェーバー】

同書は、近代資本主義システムとプロテスタントたちの禁欲的精神との因果関係を明らかにした、社会学の古典である。近代の資本主義システムはその出自ゆえ、本質的に「信用」と「倫理」を包含している。ウェーバーの時代よりも遥かにグローバル化が進んでいる今日、多種多様な民族文化、宗教を超えた神（倫理観や価値理想）の共有は極めて難しい。そんな時代にあってもなおこのシステムを続けてゆくことは、我々自身が思っている以上に重く苦しい道なのである。同書はそんな「近代」の重みを、資本主義の歴史的原点にまで立ち返って我々に示してくれる。100年以上前に著された本だが、だからこそ

価値のある一冊だと考える。

紹介者／梅津准教授

教養の再生のために

【加藤周一、ノーマ・フィールド、徐京植】

我らが宮崎公立大学は【国際教養人】の育成を目指している。グローバルという言葉がすっかり定着した現代では、【国際人】といえば「海外に目を向けている人」「世界に通用する人」とすぐにイメージが浮かぶが、では【教養】とは何であろうか？著者の一人、加藤周一は、自動車を例にして説明する。「車を作るのは技術、行く先を決めるのが教養」と。技術的な知識が重要なことは勿論だが、「どこへ行くのか」「何を目的として、何の為にいくのか」を決めるのは教養であってテクノロジーではない。実用的な側面だけが強調されがちな現在の大学教育。大学で学ぶということは何かを改めて問い直される1冊。

紹介者／赤澤（図書館）

私の[✿]図書館活用術

大学図書館はうなぎ

附属図書館長 田中宏明



韓流スターのチャン・グンソクさんはファンのことをうなぎといいます。なぜかという、彼にとってファンはうなぎと同じようにエネルギーと感動を与えるからだそうです。そうであれば、大学図書館はわたしたちstudent（学生、研究者）にとってうなぎのような存在です。確かに大学図書館は、グンソクさんのファンのように熱狂的には支援してくれませんが、静かにではあっても、しっかりとstudentを支えてくれます。

大学図書館の研究者向け支援には、第一に、図書や学術雑誌の発注があります。研究に必要な文献は、図書館経由で、書店に注文され、研究室に配置されます。第二に、論文等の文献複写のサービスがあります。本学図書館が所蔵していない学術雑誌の複写を、他大学の図書館に依頼してくれます。第三に、本学が所蔵していない図書も、本学図書館が依頼し、他大学図書館から貸してもらうことができます。そして最後に本学図書館は、本学教員の研究成果の発表の場である『宮崎公立大学人文学部紀要』の編集作業を担っています。

学生用の『紀要』はありませんが、学生の研究成果である卒業論文が図書館で閲覧できます。その他の上記の3点については、研究者向けと同じようなサービスを学生のみなさんも利用できます。詳細は図書館職員に聞いてください。実は図書館職員こそわれわれstudentに研究のエネルギーと感動を与えてくれるうなぎなのです。

情報の宝庫：図書館サービスの利用法

築切佑果（4年）



私が公立大学の附属図書館を頻繁に利用するようになったのは、2年後期にゼミに所属するようになってからです。私の所属する中国文化論演習のゼミでは、毎週レジュメを作成し口頭発表を行います。レジュメに出てくる人物名や政治・経済の用語、風俗については、用語に適した事典から資料をコピーし配布します。当初は、どの事典の資料を使えばよいのか、その事典が館内のどこにあるのか、館内のコピー機の使い方も分からないという状態で、ゼミの担当教員や先輩方、図書館の職員の方には大変お世話になりました。2年間のレジュメ資料作成を通して、今では必要な資料をすぐに見つけることができるようになりました。

現在は、卒業論文を書き進めているところなのですが、時には自分のテーマに沿った文献が館内に所蔵されていない、県立図書館や街の書店にもないことがあります。図書館では、所蔵していない資料の複写を他大学図書館などに依頼し送ってもらうことができます。このILL複写依頼サービスは館内から簡単に申請できますし、数枚程度の資料であれば安価でとても便利です。また、図書のリクエストをして館内に文献を入れることもできます。私も卒論のテーマである中国雲南省の少数民族の文化に関する文献を多数入れていただきました。

所属ゼミや卒業論文のテーマによって、図書館の利用頻度や形態は変わりますが、様々なサービスを有効に活用し学生生活に役立ててください。



—— 宮崎公立大学 附属図書館 広報紙 ——

『Camellia』 vol.2 (2011年10月28日)

発行：宮崎公立大学附属図書館

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目1-2 TEL.0985-20-4814

URL：http://www.miyazaki-mu.ac.jp/library/

【編集後記】

お待たせしました！図書館広報紙『Camellia』vol. 2が完成しました。

今号のコンセプトはズバリ【情報収集力アップ大作戦!!】

「情報収集に役立つツールはこれだ！」「学生時代にこんな本を読んでみては？」「図書館ってこんな使い方もあるんだ！？」などなど情報満載です。

もっとよく知りたい、こんな本もあるよ、こんなことについて書いて欲しいなどなど、ご意見・ご感想があれば、図書館職員にお気軽に声を掛けてください。

では、また次号でお会いしましょう。



剣八(ケンパチ) 3歳